



東の風

なかよく かしく たくましく がんばる

令和5年 11月 29日 発行者 平野紀子 <http://www.ueis.ed.jp/school/higashi/>



百人一首市民大会
上・下学年W優勝

心身のたくましさ・粘り強さを育む

子供たちは、日々の授業はもとより校外学習や地域での様々な体験を通して、心身ともに逞しく成長しています。先日、6年生が参加した「水害に関するワークショップ」では、保護者や地域の方と話し合う中で、日頃からの声掛けやあいさつ、地域行事への参加、話合いの大切さ等について考えることができました。また、12月2日の土曜授業には校内百人一首大会があります。子供たちは、自分の目標に向かって練習に励んでいるところです。この取組は、本校の特色として、宮・未来キャリア教育にも位置付け、粘り強さや自他のよさを認め合う機会として力を入れています。当日は、ぜひ子供たちが努力してきた姿を応援していただきますようお願いいたします。

◇学校づくりの視点「たくましく生きる力を育む指導の充実」を目指して

① 運動に親しみ体力を高めようとする態度や能力の育成

校庭の遊具を活用した東校サーキット運動やうつのみや元気っ子チャレンジを実施しています。



長縄大会に向けて、キッズ班の練習もスタートしました。

② 健康教育の推進や望ましい食習慣の形成



給食マナーについて、学校栄養士から話を聞く1年生



おにぎりの日・お弁当の日

③ 危険予測・回避能力の育成

今年度は、特に水害に関する危機意識の高揚を目指し、6月の体験談を踏まえてワークショップを実施しました。ワークショップでは、大雨が降ったときの対応について話し合いました。子供たちにとって、「今後、自分たちに何ができるか。」を考えるよい機会になりました。地域の方からも、「今後も、若い世代の考えを聞きながら地区の防災を考えていきたい。」との感想をいただき、充実した時間となりました。ご参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。

【児童の感想】

- ・この機会に話し合うことができてよかった。もっと地域の行事に参加したり挨拶を交わしたりしたい。
- ・災害が起きてからでは遅い。今から話し合う大切さがわかったので、ぜひ家族や周りの人と話し合っていきたい。
- ・自分の命や安全が確保されたら、近くの人にも声をかけて助け合っていくことが大切だと思った。



グループ協議

◇学校づくりの視点「達成感を実感させる指導の工夫」

① 夢や目標に向かって粘り強く努力する態度の育成

学期の初めやまとめの時期、運動会、百人一首大会、修学旅行等の学年の大きな行事等についてキャリアパスポートを作成しています。子供たちは、自己評価の他に先生や保護者の方から自分のよさや頑張りを認めほめてもらうことで、大きな自信につながっています。

② 学校や地域への誇りや愛着を育む活動の推進

黄ぶな作り、生け花、地区探検等を実施しています。

③ 全校で取り組む校内百人一首

学校独自のカリキュラムを作成し、朝自習や授業、クラブ活動等で継続して取り組んでいます。



黄ぶな作りや生け花教室



授業やクラブ活動での練習



百人一首ゆかりの地 宇都宮 と 東小



和歌を愛した宇都宮5代城主 宇都宮頼綱(蓮生)

鎌倉時代の宇都宮城5代城主「宇都宮頼綱」は、鎌倉幕府から謀反の疑いをかけられ、出家して京都に移り住みました。名を蓮生(れんしょう)と改名しました。

もともと和歌が好きだった蓮生は、京都で藤原定家(ふじわらさだいえ)という歌人と親しくなり、ますます和歌が好きになりました。蓮生の娘と定家の息子が結婚し、親戚関係にもなりました。当時、和歌をしたためた色紙をふすまに貼ることが流行しており、蓮生は、京都の小倉山にある自分の別荘に貼る色紙を選ぶよう、定家に依頼しました。

こうして選ばれた素晴らしい和歌が、現在の小倉百人一首として伝えられています。宇都宮市では、百人一首にゆかりが深いということで、市制100周年を記念して平成7年から「うつのみや百人一首市民大会」を開催しています。

東小での百人一首への取り組み

東地区の清巖寺には、頼綱の供養塔といわれる墓があります。また、平成24年度から宇都宮市立小・中学校でも授業の中で百人一首に取り組むようになり、本校でも全校体制で学習に位置付けて計画的に行ってきました。「校内百人一首大会」の実施や「うつのみや百人一首大会」への参加など、学年に応じて百人一首に親しんでいます。

- ① 1・2年生の国語科、3～6年生の総合的な学習の時間の中に、百人一首を学ぶための時間を確保し、発達段階に応じた指導を計画的に行っています。
1年生：かるた遊びから百人一首へ(10～20首) 2年生…20～40首 3年生…40～70首
4年生…70～100首 5・6年生…100首
- ② 3～6年生は、3～4名でチームを組み、学級や学年、校内で百人一首大会を行います。
- ③ 詠み上げ機「ありあけ」等を活用して、百人一首独特の詠み方に親しむことができるようにしています。

百人一首を学ぶことでの教育的効果

- ① 日本文化にふれるとともに、百人一首とゆかりの深い宇都宮市や本校を誇りに思う心が育つ。
- ② ゲーム感覚で楽しみながら、歴史的仮名遣いに対する基礎知識が身に付く。
- ③ 練習や競技を通して礼儀を重んじ、暗記力や集中力、持続力、聴く力、判断力等が育つ。
- ④ 学年や異学年、競技会等で多くの児童や世代、性別を超えた交流を深めることができる。

12月2日(土)土曜授業のお知らせ

★8時30分～9時30分 体育館

- ・開会行事
- ・講話 小倉百人一首のものがたり 他
中央生涯学習センター 田代暢雄様

★9時45分～10時45分 百人一首大会等

- ・1年 図工室(北校舎4階)
- ・2年 理科室(北校舎4階)
- ・3年～6年 体育館 校内百人一首大会

詳しいことは、11月7日付け「土曜授業のご案内」をご覧ください。
また、11時からPTAによる東校フェスタも予定されています。



【12月の予定】

- 1日(金)創立記念日
- 2日(土)市内一斉土曜授業
- 4日(月)音楽集会(1・4・6年発表)
- 6日(水)お話玉手箱
- 7日(木)委員会活動(5・6年)
- 12日(火)小中交流(6年)
- 13日(水)学習内容定着度調査(6年)
学習と生活についてのアンケート

- 14日(木)クラブ 教育相談①
- 15日(金)冒険活動教室説明会(5年)
- 18日(月)校外学習(2年JR宇都宮駅)
教育相談②

- 19日(火)5時間授業(研究授業)、15時下校
- 20日(水)お話玉手箱、一斉下校、教育相談③
- 21日(木)クラブ 教育相談④
- 22日(金)教育相談⑤
- 25日(月)朝会

◆冬休み◆

12月26日(火)～1月8日(月)